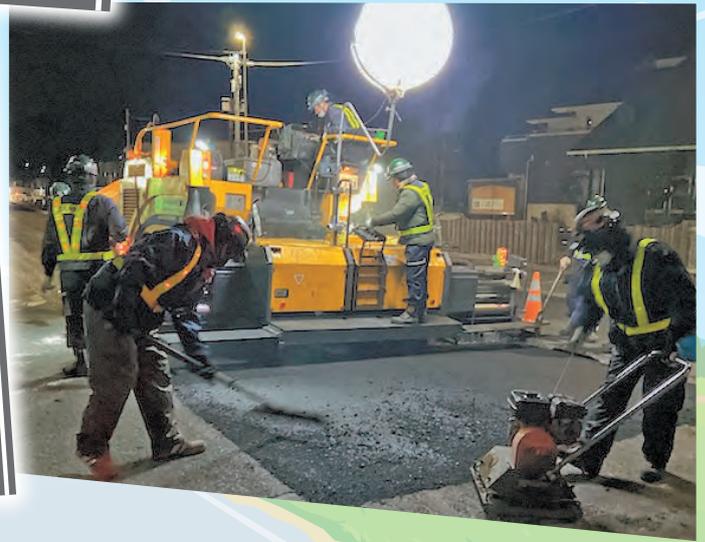




ならの道

リフレッシュプロジェクト



奈良県は、道路環境が良くないとされています。実際、道路整備率は全国の都道府県で最下位となっています（道路統計年報2022より）。

また、舗装に関する苦情・要望の件数は、全体の約20%を占め、類型で第1位となっています（令和4年度）。

このため、令和6年度から令和10年度の5カ年度において、予算を集中的に投入し、道路利用者の皆さんに安全で快適な道路空間を提供するための「ならの道リフレッシュプロジェクト」を実施することになりました。

プロジェクトの柱

1 舗装の耐久性の向上

路面損傷が著しい道路の計画的な舗装修繕により、**耐久性を向上**

2 区画線の維持修繕

区画線の損傷が著しい道路の計画的な**区画線補修**により、**視認性を向上**

3 草刈りのメリハリ化

計画的な防草対策を実施することにより、**雑草のみみだしによる危険度、不快感を軽減**

4 道路維持管理のDX

SNSによる通報サービスやドライブレコーダーを用いることにより、**異常箇所を早期発見**

1 舗装の耐久性の向上

県管理道路の現状

舗装の損傷状態を3つの指標(ひび割れ、わだち掘れ^{※1}、IRI^{※2})で総合的に判断すると、損傷が著しい状態(損傷度Ⅲ)の道路は、**全体の約26.1%**^{※3}を占めています。

- ※1 車両が通過する位置に連続的に生じる横断方向の凹凸
- ※2 車で走行した時に感じる進行方向の凹凸(車の乗り心地)
- ※3 令和元〜3年度 県調査実績

舗装劣化のメカニズム

表層にひび割れが発生するとそこから雨水が浸入し、路盤の支持力が低下します。さらにひび割れから路盤の成分が流出することにより劣化していきます。



出典:国土交通省資料

交通量と舗装劣化の関係

国土交通省の調べによると、**大型車交通量1,000台/日・方向以上の路線**(奈良生駒線などは**舗装が早期に損傷**し、1,000台/日・方向未満では、大幅に損傷の進行が緩やかになるとされています。

ひび割れ率に関する標準的な劣化曲線(交通量別)



出典:国土交通省データ

きれいな舗装を長持ちさせる

これまでの修繕方法

毎年、限られた予算の中で多くの路面を修繕するために、主に舗装の**表層の修繕**を実施してきました。そのため、舗装が早期に損傷し、修繕が追いつかない状態でした。

これからの取り組み

約2,000kmある県管理道路を、**大型車交通量に応じて**、左図のとおり管理区分を設定しました。その上で、管理区分Aに設定した主要道路の約110kmから優先的に、**表層だけではなく路盤も含めた修繕**を実施することで舗装の耐久性を向上させ、最適な路面状態を維持します。

【県管理道路の区分】

管理区分	延長(km)	定義
管理区分A	約110	・大型車交通量 1,000台/日・方向以上
管理区分B	約690	・大型車交通量 100台/日・方向以上 (管理区分Aを除く)
管理区分C	約1,200	・大型車交通量 100台/日・方向未満
合計	約2,000	

快適で走りやすい路面が維持されます!

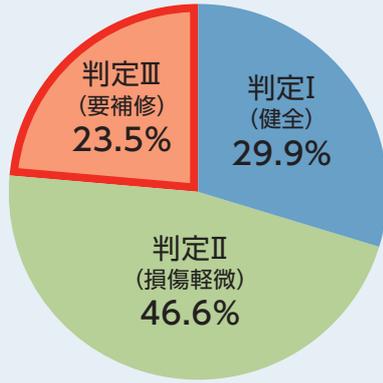


2 区画線の維持修繕

見やすい区画線に

区画線の損傷状況

区画線の損傷状態を3段階に区分すると、損傷が著しい道路（判定Ⅲ）は**全体の約23.5%**となっています。（令和元～3年度 県調査実績）



これまでの修繕方法

職員の**パトロール**や**住民の皆さん**からの**通報**により、補修箇所を選定し、補修を実施してきました。

これからの取り組み

県管理道路の管理区分A・B（3ページ参照）の道路のうち、区画線の損傷が著しい道路（約200km）について、優先的に補修を実施します。
さらに、**ドライブレコーダー**の映像を用いて**損傷箇所を検出し、把握する取り組み**を新たに始め、迅速な修繕につなげます。

3 草刈りのメリハリ化

不快感のない道路に

これまでの草刈りの方法

通行の障害となる雑草や、沿道環境を害する雑草が繁茂する区間を対象に、原則年1回の草刈りを実施しています。

しかし、「雑草が伸びているのでもう一度草刈りしてほしい」や、「雑草が伸びて見通しが悪く危険なところがある」などの声が多く寄せられ、年1回の草刈りでは不十分でした。

これからの取り組み

● 従来の草刈りだけではなく、**雑草が生えない対策（防草対策）**も実施します。

【防草対策の方法】

- ・ 縁石と舗装の隙間を埋める
- ・ 道路の外側や中央分離帯を防草シートや張りコンクリートで覆う

【対象区間】

県管理道路の管理区分Aの道路、および年2回の草刈りを行っている道路（合計約140km）

● **観光地周辺の道路や、道幅が狭い道路などの危険箇所**においても、草刈りや防草対策を実施します。

対策のイメージ



4 道路維持管理のDX

「異常を効率的に見つける」

これまでの方法

道路の異常などについて、電話で県民の皆さんなどから通報を受けた場合、場所の特定や状況の把握が難しく、時間を要することが多くありました。

また、道路パトロールでは、全ての県管理道路の状況を把握することは困難でした。

これからの取り組み

写真、位置情報の送信が可能なSNSを活用することで、利用者の通報しやすさが向上します。

また、ドライブレコーダーの映像を活用することで、効率的に道路状況を把握し、異常箇所を早期に発見します。



道路パトロール
(+ドライブレコーダーのデータ活用)



一般車両の
ドライブレコーダーのデータ活用



SNSによる
通報



これまでの
方法に加えて



電話通報



道路パトロール



詳しい操作方法や
注意事項は
こちら
(県公式HP)



友だち登録は
こちら

※アカウントは
国土交通省で作成

LINEアプリによる通報では、写真や位置情報を簡単に送信できますので、ぜひご利用ください！

LINEアプリ
から通報ができる
ようになりました！

道路の異常を発見した際の通報手段として、国の道路緊急ダイヤル(#9910)のLINEアプリの運用が本県でも開始されています。

補修前



補修後



大宮通りの歩行環境向上

大宮通りは、奈良公園へのメインルートであり、沿道に市役所、学校、ホテルなどの施設があります。歩行者も多いことから、歩道の舗装修繕や防草対策などを実施します。

ならの道 リフレッシュプロジェクト 以外にも